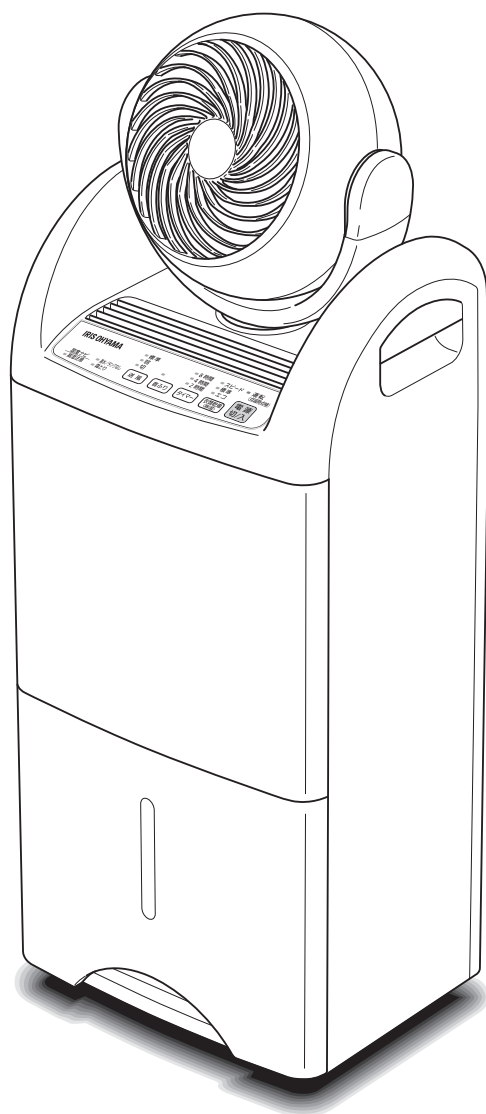


衣類乾燥除湿機

DCC-6515C

取扱説明書



保証書付 (裏表紙)

「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

特長

ご使用の前に

特長.....	2
安全上のご注意.....	4
使用上のお願い.....	6
各部の名称.....	8

取り扱いかた

使いかた.....	10
お手入れのしかた.....	14

こんなときには

故障かな？と思ったら.....	16
長期使用製品について.....	18
仕様.....	19
保証とアフターサービス.....	19
保証書.....	裏表紙

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
ございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

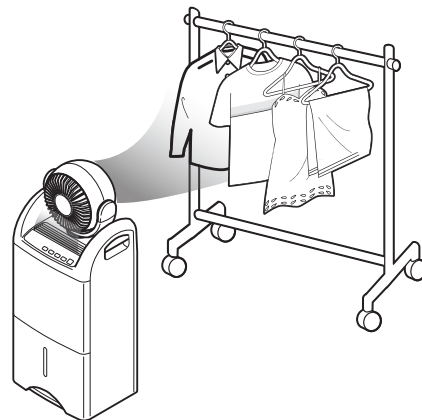
衣類乾燥除湿機とは

室内に干した洗濯物は乾くまでに時間がかかります。屋外に干して乾燥できても、取り込む時間帯が遅くなると再び湿気を吸収してしまいます。

- ・本製品は、消費電力の少ないコンプレッサー式の除湿機に、大風量で風を届けるサーキュレーターを組み合わせ、少ない消費電力で効率良く洗濯物を乾燥させることができる衣類乾燥除湿機です。
- ・洗濯物の乾燥時間をより短縮したい場合、内蔵の600Wのパワフルヒーターで暖めた風を送ることができます。
- ・また、衣類乾燥だけでなく、お部屋の除湿や、押入れなどのスポット除湿、サーキュレーターを使用した冷暖房の効率よい循環など、四季を通じてご利用いただけます。

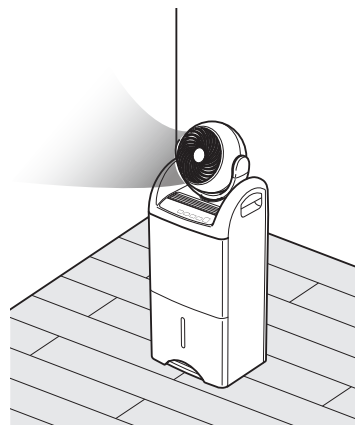
洗濯物を乾かすとき

サーキュレーター風の洗濯物に当たるように風向きを調節します。たくさんの洗濯物にまんべんなく風を当てるには、首ふりをオンにします。



部屋の湿気をとるとき

サーキュレーターを斜め上に向け、送風を「標準」または「弱」にして、部屋全体の空気を循環させるようにします。



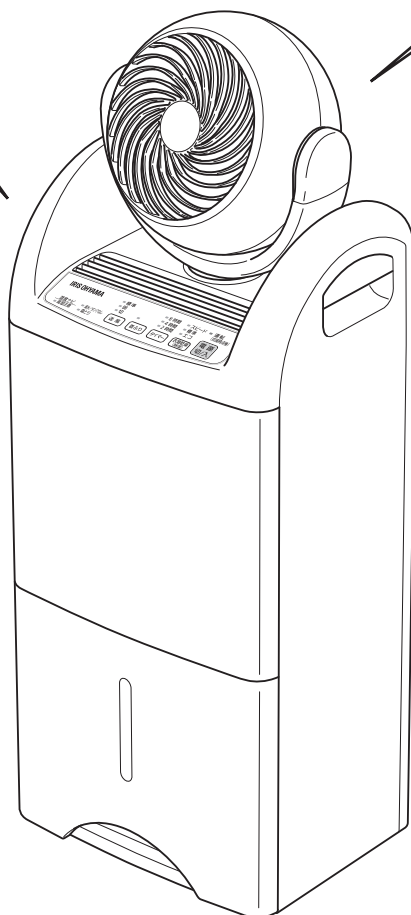
この間、乾きの悪い洗濯物には雑菌が繁殖したり、においがついたりします。
また、室内で蒸発した水蒸気は、畳などの床に吸収されたり、壁や窓に結露したりします。

湿度ナビ付き

- 湿度が高いときにお知らせする湿度ナビランプ装備です。(P12)

サーキュレーター

- 左右首振り機構付きで、たくさんの洗濯物に風を当てることができます。(P11)
- 風量は、標準・弱・切の3段階切り替えです。(P10)



除湿機は3つのモードで効率よく除湿・乾燥

- **スピード：**
ヒーターをオンにして吹出す風の温度を上げ、すばやく洗濯物を乾燥させます。
- **標準：**
気温が10℃以下のときは自動的にヒーターをオンにして、洗濯物の乾燥時間を短縮するように運転します。それ以外の気温ではヒーターをオフにして、少ない消費電力で運転します。
- **エコ：**
常にヒーターをオフにして、少ない消費電力で運転します。

衣類乾燥除湿機は乾燥した空気を直接洗濯物に当てることですばやく衣類を乾燥させます。
特にサーキュレータを併用することで、強力な風でより早く衣類を乾燥させることができます。

また、除湿機の機能を活かして、衣類から蒸発した水分が他へ移る前にすばやく取り除き、カビや結露の発生を防ぎます。

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

図記号の意味



注意を促す記号です。



してはいけない「禁止」内容です。



しなければならない「指示」内容です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



必ず実施

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・ 電源コードを動かすと、運転したりしなかったりする
 - ・ 運転中時々電源が切れる
 - ・ 触れるとビリビリ電気を感じる→ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



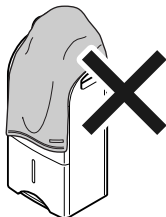
分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



禁止

- サーキュレーター・吹き出し口・吸気口を、布や紙、ビニール袋などでおおったりふさいだりして運転しない
過熱して火災の原因になります。



禁止

- サーキュレーターのガード、本体の吹き出し口・吸気口、タンク挿入部の奥などのすき間にもものや手を入れない
感電やけがの原因になります。



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない
- 本体を水につけたり、本体に水をかけない
火災・感電の原因になります。



禁止

- スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
火災の原因になります。



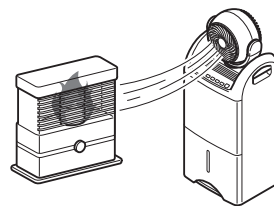
禁止

- 風の流れをさえぎるようなものの周囲で使用しない
- ほこり、粉塵の多い場所で使用しない
発煙・火災・故障の原因になります。



禁止

- 風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない
不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



禁止

- 屋外では使用しない
- 押し入れや家具のすき間など狭い場所では使用しない
過熱して火災の原因になります。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



必ず実施

- 電源プラグのほこりは定期的にとる
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



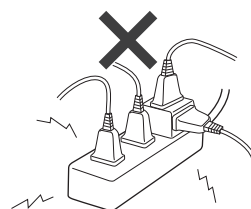
禁止

- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
火災・感電の原因になります。



禁止

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 電源コードを傷つけない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものをのせる、挟み込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。
- 交流 100V 以外では使わない
火災・感電の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

移動するときは



禁止

- 横方向以外に引きずって移動しない
本製品のキャスターは横方向にしか動かないので、畳・床に傷がつく原因になります。また、傷つきやすい床や毛足の長いじゅうたんの上などでは、持ち上げて移動してください。
- サークュレーター部を持たない
移動するときは必ず取っ手を持ってください。サーキュレーター部やその他の部分を持つと、破損してけが・感電・火災の原因になります。



必ず実施

- 運転を停止し、電源コードを抜いて、タンクの水を捨てる
感電・火災、また漏水による周囲の汚損の原因になります。



必ず実施

- 水平で安定した床の上で使用する
不安定な場所・テーブルの上などで使用すると、転倒してけがや周囲の物品の破損の原因になります。



禁止

- 食品・医薬品・美術品・学術資料の保存など、業務用・特殊用途に使わない
保存品の劣化の原因になります。家庭用ですので、業務用・特殊用途には使用しないでください。
- 除湿した水を飲料用・飼育用・栽培用などに使用しない
健康を害したり、害を及ぼしたりするおそれがあります。



禁止

- 子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
- 乗ったり寄りかかったりしない
転倒してケガの原因になります。



禁止

- 本体に強い衝撃を与えない
故障して、火災・感電の原因になります。

安全上のご注意 つづき



禁止

- サーキュレーター羽根やカバーを取り付けずに運転しない
- 本体の吸気口カバーやタンクを取り付けずに運転しない
けが・感電・火災の原因になります。



禁止

- 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない
除湿機内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康によくありません。
殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。



禁止

- タンクのフロート部の発泡スチロールを外さない
運転できなくなったり、水があふれて周囲の汚損の原因になります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 長時間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。



禁止

- 風を直接身体に当てない
扇風機ではありません。非常に強力な風を発生します。特に、小さなお子様やお年寄りにはご注意ください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。

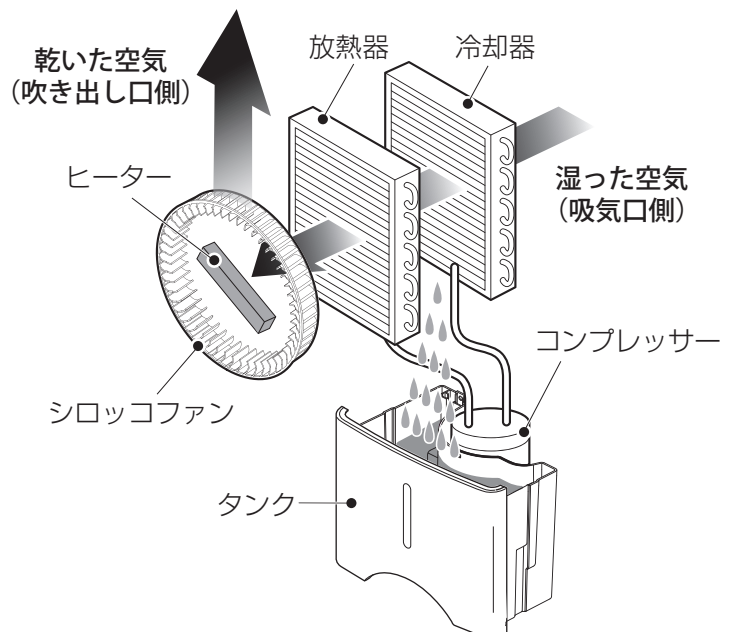
- 動植物に直接風を当てない
害を与えるおそれがあります。

使用上のお願い

■ 除湿のしくみ

本製品はコンプレッサー式除湿機の機構を利用しています。

- ① 吸い込んだ空気を冷却器で冷やします。
- ② 空気中の水分は冷却器表面で結露し、水滴となってタンクにたまります。
- ③ 冷却器で奪った熱は、放熱器で除湿された空気に戻されます。
- ④ ヒーターがオンのときは、空気が吹き出される直前にファンの手前で加熱されます。



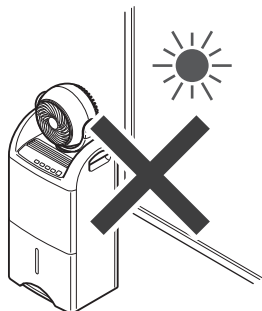
室温が上がります

本製品は冷房機器ではありません。
閉め切った部屋で使用すると、室温が1～5℃上昇します。
また、太陽からの輻射熱や他の家電から出る熱があると、より室温が上昇する場合があります。

使用上のお願い つづき

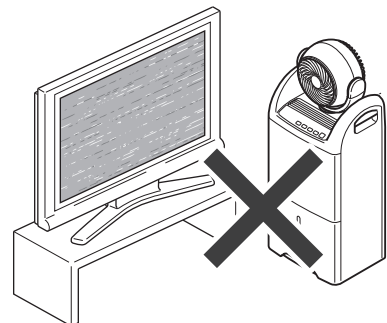
■使用上の注意

- 直射日光やエアコン・暖房器具の温風が当たらないところに設置してください。
変形・変色したり、センサーが温度・湿度を感知できずに誤動作する場合があります。



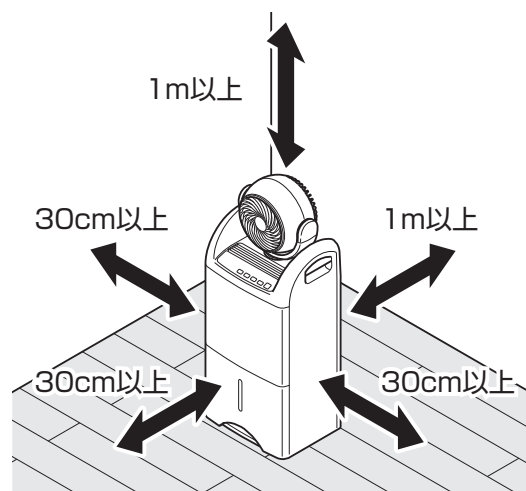
- なるべく閉め切った部屋で使用してください。
運転中に窓や扉を開閉して室内の温度が大きく変わると、除湿量が低下する場合があります。

- この除湿機は屋内用です。屋外では使わないでください。
- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



設置について

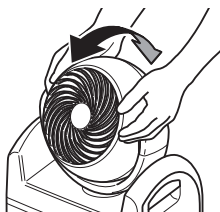
- 設置の際は、カーテン・壁・家具などから、図に示す距離を離してください。
過熱・火災の原因になります。



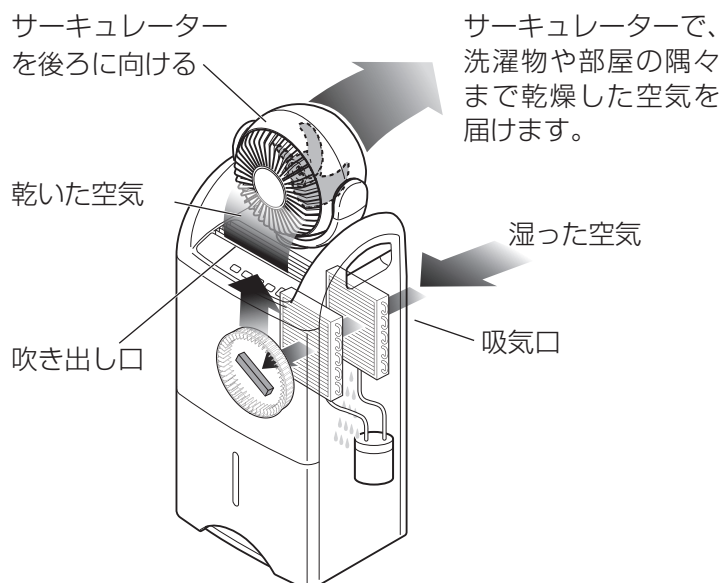
■上手な使いかた

サーキュレーターへの向き

- サークュレーターの向きを上下に変えることで、洗濯物や空気の循環の必要な箇所に効率よく風を送ることができます。

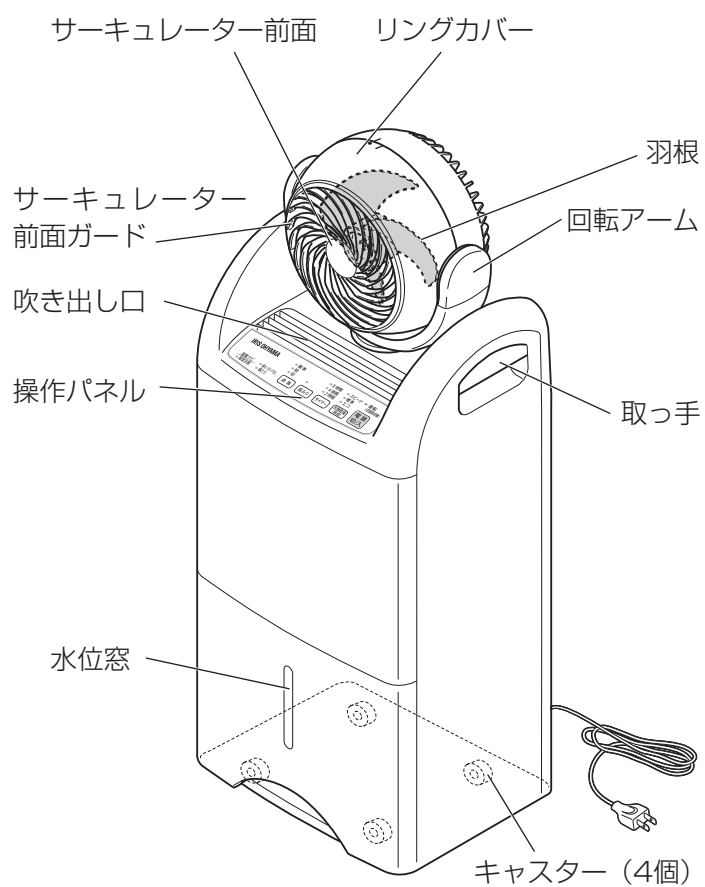


- 吹き出し口から出てくる除湿された空気を効果的に利用するためには、サーキュレーターを後ろに向けて使用してください。

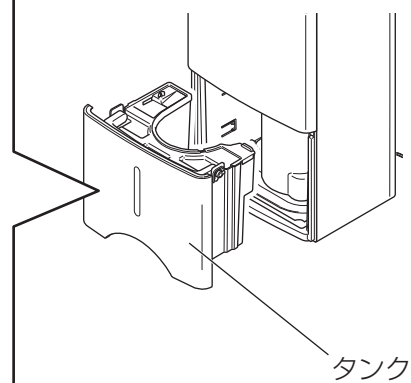
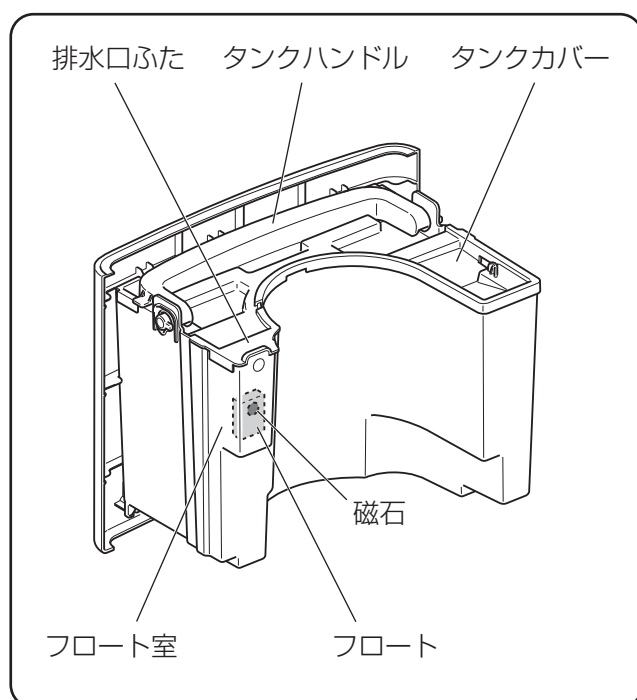
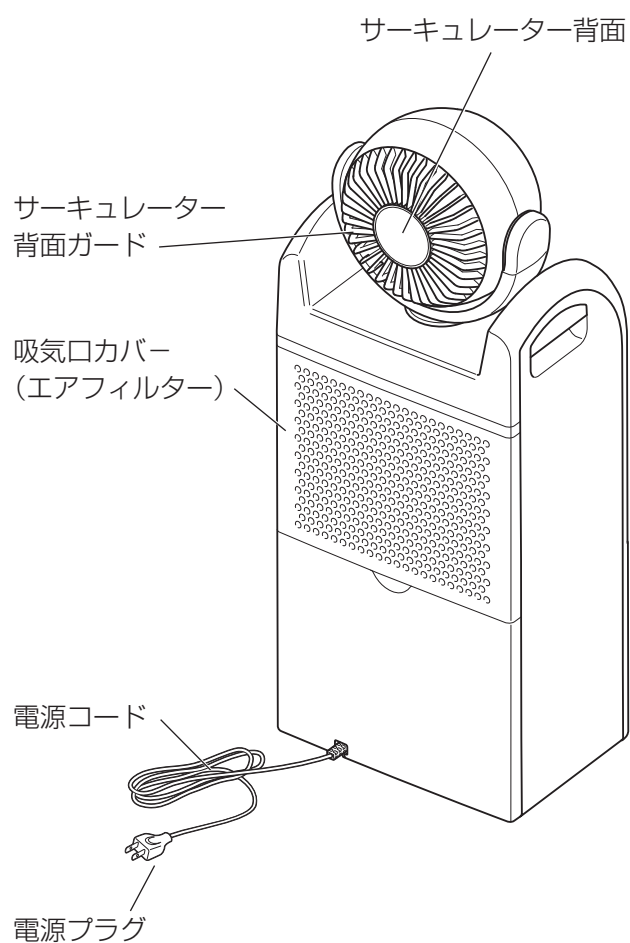


各部の名称

■正面



■背面



■操作パネル

満水／タンクなしランプ

タンクが満水になったり、タンクが正しくセットされてないと点灯します。(P12)

送風ボタン・ランプ

サーキュレーターの運転を切り替えます。ボタンを押すたびに、標準→弱→切 と切り替わります。(P10)

運転ランプ

電源を入れると点灯します。点検が必要なときは点滅します。(P13)

タイマーボタン・ランプ

切タイマー時間を設定します。ボタンを押すたびに、2時間→4時間→8時間→消灯（タイマー解除）と切り替わります。残り時間に合わせて 8時間→4時間→2時間 と点灯するランプが切り替わって、残り時間がなくなると運転を停止します。(P11)



霜とりランプ

内部の冷却器に霜がつくと、ランプが点灯してお知らせします。(P12)

首ふりボタン・ランプ

ボタンを押すとランプが点灯し、サーキュレーターが左右の首ふり運転をします。(P11)

電源 切／入ボタン

電源を入／切します。(P10)

湿度ナビ／高湿注意ランプ

部屋の湿度が高いとランプが点灯します。除湿されて湿度が下がると消灯します。(P12)

衣類乾燥（除湿）ボタン・ランプ

衣類乾燥（除湿）の運転モードを切り替えます。ボタンを押すたびに、標準→スピード→エコ と切り替わります。(P10)

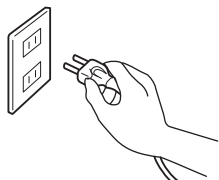
使いかた

注意

- タンクが本体に確実にセットされていることを確認してください。タンクが正しくセットされてないと、満水/タンクなしランプが点灯し、運転できません。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

- ・ピピピピッと音がなり、全ランプが点灯してから消灯します。



2 電源 切/入ボタンを押す

- ・運転ランプ・標準ランプが点灯し、運転が始まります。

□ 運転
(点滅時点検)



3 お好みの運転を選ぶ

衣類乾燥（除湿）ボタンを押すたびに除湿のモードが切り替わります。

□ スピード
↑
□ 標準
↑
□ エコ



スピード ヒーターをオンにして吹き出す風の温度を上げ、すばやく洗濯物を乾燥させます。

標準 気温が10℃以下のときは自動的にヒーターをオンにして、洗濯物の乾燥時間を短縮するように運転します。それ以外の気温ではヒーターをオフにして、少ない消費電力で運転します。

エコ 常にヒーターをオフにして、少ない消費電力で運転します。

送風ボタンを押すたびに、サーキュレーターの状態が切り替わります。

□ 標準
↓
□ 弱
↓
□ 切

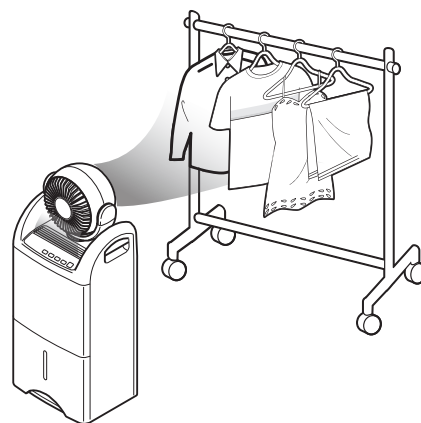


標準 サーキュレーターファンが標準の強さで回ります。

弱 サーキュレーターファンが弱で回ります。デリケートな洗濯物を乾かす時や、弱い風を送りたいときに選んでください。

切 サーキュレーターの状態を停止します。サーキュレーターを停止しても、衣類乾燥（除湿）の運転は停止しないので、部屋の湿度をゆっくり下げる時などに便利です。切にすると首振りも停止します。

4 洗濯物などに向けて風向きを調節する



※ 首振りについては、次ページを参照してください。
※ 7ページ「上手な使いかた」も参照してください。

■ 運転を停止するには

電源 切/入ボタンを押します。

- 運転
(点滅時点検)



運転が停止し、全てのランプが消灯します。

※ 除湿機のヒーターがオン（「スピード」モード時、または「標準」モードで気温が低いとき）で運転していた場合は、運転停止後もしばらくは内部のファンが回ります。

※ 何も操作をしないで12時間経過すると、自動で電源が切れます。

■ 切タイマー

タイマーを使うと、設定した時間後に運転を停止することができます。



タイマーボタンを押すたびに、次のように表示ランプが切り替わります。

- 8 時間
↑
- 4 時間
↑
- 2 時間
↑
- (消灯) : タイマー解除

残り時間が少なくなると、表示ランプもそれに合わせて切り替わります。

- 8 時間
↓
- 4 時間
↓
- 2 時間
↓
- (消灯) : 運転停止

※ 電源 切/入ボタンを押す、または電源プラグを抜くと、切タイマーは解除されます。

■ 首ふり

首ふりボタンを押してランプを点灯させると、サーキュレーターが左右に首ふりします。

□



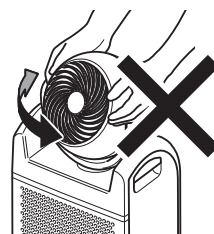
※ 上下の角度は手動で調整してください。

注意

- サーキュレーターは手動で左右の角度を変えることはできません。必ず首ふりボタンで 首ふり → 停止 の操作をして角度を変えてください。



上下の首ふりは手で



左右の首ふりはボタンで

■満水／タンクなしランプが点灯したら

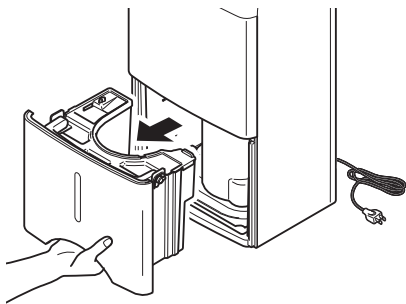
□ 満水／タンクなし

タンクが満水になるとランプが点灯して運転が停止します。
タンクを取り出して排水してください。空になったタンクをセットすると、停止前の状態で運転を再開します。

排水のしかた

1 タンクをゆっくり取り出す

片手で本体をおさえて、排水をこぼさないようにゆっくり引き出してください。
※タンクを持ち運ぶときは、ハンドルを持ってください。満水の場合は、もう片方の手でタンクをおさえて運んでください。

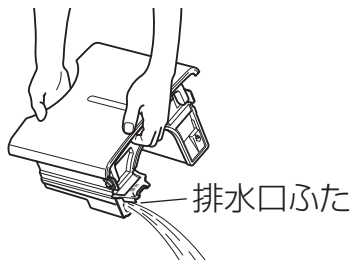


注意

●本体の冷却器に残っている水が落ちてくることもあるので、運転停止直後にはタンクを取り外さないでください。

2 水を捨てる

タンクカバーが正しく閉まっていることを確認し、タンク隅の排水口ふたを開け、排水してください。
※他の部分から水が出てくることがありますので、排水口が下になるように斜めにしてください。

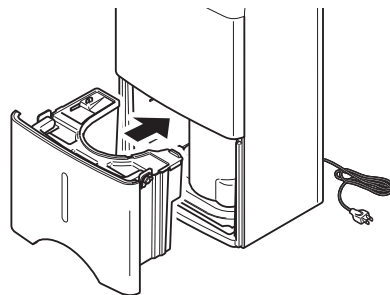


注意

●フロート室内に異物やゴミが入ってないことを確認してください。満水時の自動停止が働かなくなります。

3 タンクを本体にセットする

排水口ふたを閉め、ハンドルを正しい位置に戻してからタンクをセットしてください。



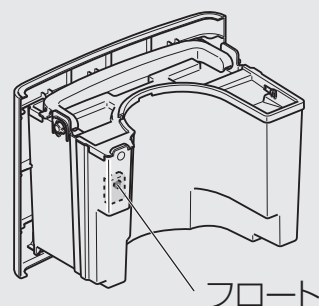
注意

●タンクを正しくセットしないと運転しません。



注意

●タンク内のフロートを外さないでください。フロートを外すと満水を検知できなくなり、水があふれ出ます。



フロート

■湿度ナビ

運転時、部屋の湿度を測定して、湿度が高いときにランプが点灯してお知らせします。

湿度ナビ

□ 高湿注意

■霜とりランプについて

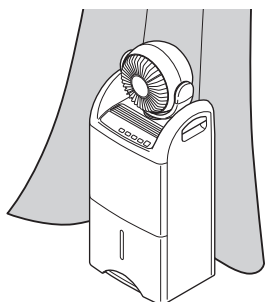
室温が低いと、本体内部に霜が発生することがあります。霜が発生すると、自動で霜とりを行います。
※霜とり運転中は、霜とりランプが点灯し、送風運転になります。

□ 霜とり

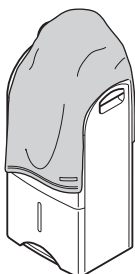
■ 運転（点滅時点検）ランプが点滅したら



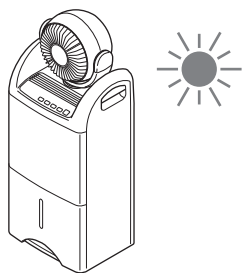
ランプが点滅したら、電源プラグをコンセントから抜き、5秒ほどおいてから再度電源プラグをコンセントに差し込んでください。それでも点滅が消えない場合は、以下の点検を行ってください。



- 吸気口をカーテンなどがふさいでいないこと



- 本体上部を布などでおおっていないこと



- 室温が高くなりすぎている、直射日光があたって、本体内部温度が上昇していないこと

- ふさいでいるものがあれば取り除き、一度電源プラグを抜いてください。涼しい場所で1～2時間さましてから再度電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
- それでも運転（点滅時点検）ランプの点滅が消えない場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご連絡ください。

■ 転倒時安全スイッチが働いたら

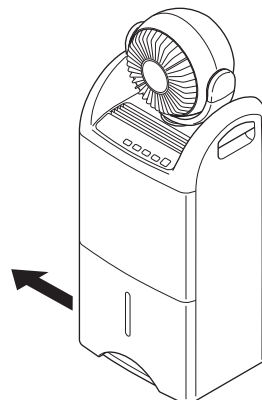
本機には安全のため、転倒時に電源を切るスイッチが内蔵されています。本機が傾いたときや振動を感知したときは、電源が切れることがあります。このようなときは、異常がないか確認し、水平で安定した場所に設置されていることを確かめてから、電源を入れなおしてください。

■ 移動のしかた

移動するときは、電源を切り、しばらくたってからタンクを取り出して排水してください。

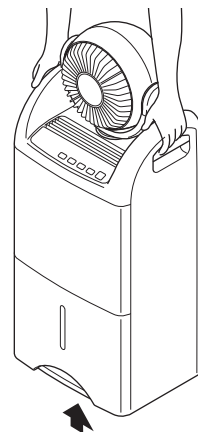
横方向

横方向には、底のキャスターで、持ち上げずに移動できます。



横方向以外

横方向以外や、毛足の長い絨毯の上、傷つきやすい床の上などでは、左右の取っ手を持って持ち上げ、傾けないように移動してください。



お手入れ



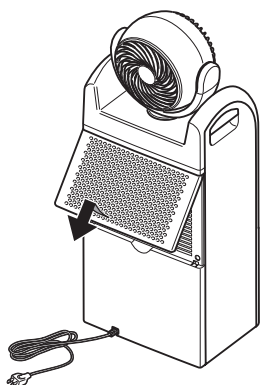
注意 ●お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
●また、ぬれた手で抜き差ししないでください。感電やけがのおそれがあります。

■エアフィルターのお手入れ

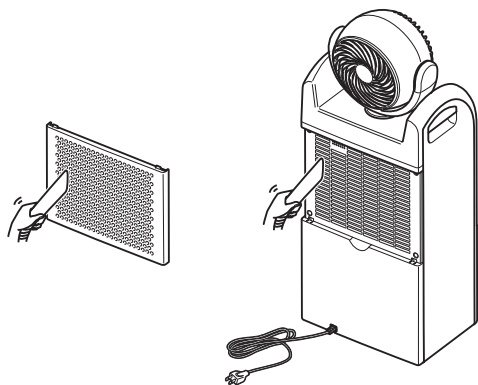
1 ヶ月に 1 回程度

1 電源を切り、タンクの水を排水する

2 吸気口カバーの取っ手を手前に引き、カバーを外す



3 吸気口カバーのエアフィルターと本体の吸気口を掃除機で掃除する



注意

●ブラシ付きノズルは使用しないでください。エアフィルターを破損することがあります。

4 吸気口カバーを元通り取り付け

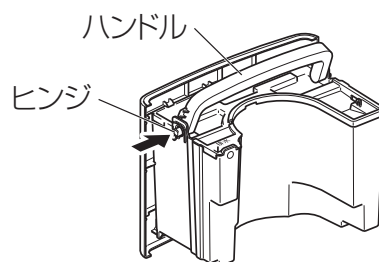
吸気口カバー上側の突起を本体にはめ込んでから、下側を押し込みます

■タンクのお手入れ

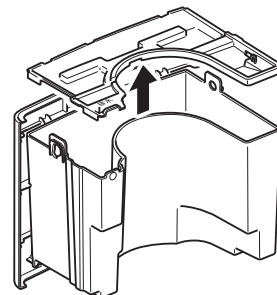
1 ヶ月に 1 回程度

1 タンクを引き出し、水を捨てる
前ページの手順にしたがって、排水してください。

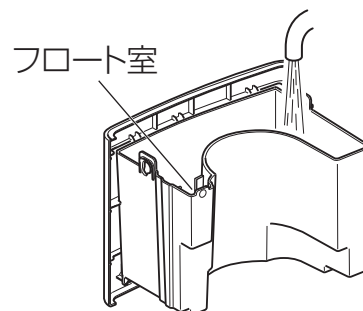
2 ハンドルを外す
ハンドルのヒンジ凸部を穴形状に合わせ、外から押し込むと外せます。



3 タンクカバーを上引っ張って取り外す
※ フロートの発泡スチロールは外さないでください。



4 タンクとタンクカバーを水洗いする
※ フロート室内に異物やごみがあったら、洗い流してください。



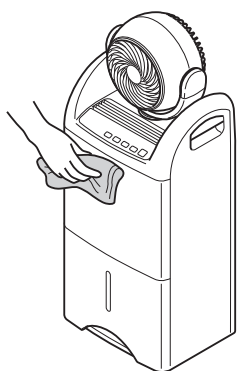
5 よく水をふき取ってタンク・タンクカバー・ハンドルを元通りセットし、タンクを本体にセットする

※ ハンドルの向きを間違えないようにしてください。
※ タンクは本体に正しくセットしてください。

■本体のお手入れ

1 ヶ月に 1 回程度

水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませた柔らかい布をよくしぼって、汚れをふき取ります。



注意

- 水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。
- 化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きにしたがってください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、みがき粉などは使用しないでください。製品を傷めることがあります。

■サーキュレーターのお手入れ

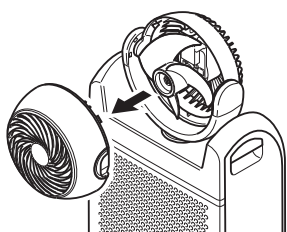
1 ヶ月に 1 回程度

1 リングカバーを反時計回りに回し、「はずす」の線に目印を合わせる

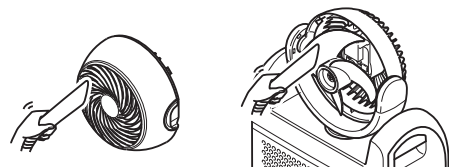
※サーキュレーターを前または後ろに向けて、リングカバーを回してください。サーキュレーターを上に向けてリングカバーを回すと、首振り機構部を破損するおそれがあります。



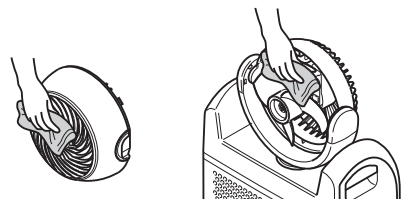
2 リングカバーを外す



3 掃除する

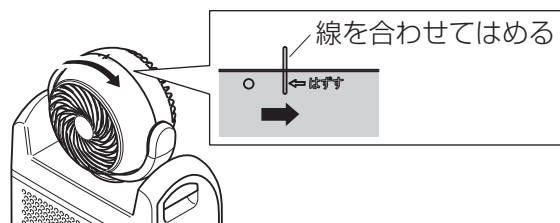


掃除機などでゴミを取り除いてください。
掃除機でとりきれない箇所は、柔らかい布などでふいてください。



4 リングカバーを取り付ける

リングカバーは、「はずす」の線を合わせ、「○」まで時計回りに回してはめ込んでください。



■保管のしかた

長期間使用しない場合は、以下の手順で保管してください。

1 電源を切り、半日程度たってからタンクを取り外して排水する。

2 本体・エアフィルター・タンク・サーキュレーターを、お手入れの手順にしたがってお手入れする

3 本体・タンクを十分乾燥させてから、ほこりが入らないように、梱包箱またはポリ袋に入れる

4 直射日光が当たらず、湿気の少ない場所に立てたまま収納する

※長期保管後使い始めるときも、点検・お手入れをして清潔な状態でご使用ください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
運転しない	●電源プラグが確実に差し込まれてない	●電源プラグを確実に差し込んでください。
運転が止まった	●転倒時安全スイッチが働いている	●水平で安定した場所に設置し、再度電源 切/入ボタンを押してください。
	●何も操作をしないで12時間経過すると、自動的に電源が切れる	●故障ではありません。再度電源を入れてください。
運転しない (満水／タンクなしランプが点灯している)	●タンクが満水になっている	●タンクの水を捨ててください。
	●タンクが正しくセットされていない	●タンクを本体に正しくセットしてください。
	●タンク内のフロートが動かない	●フロート室内のゴミや異物を洗い流してください。
運転しない (運転：点滅時点検ランプが点滅している)	●本体内部が過熱している	●吸気口・吹き出し口をふさいでいるものを取り除いてください。または、直射日光や暖房から遠ざけてください。 さらに、一度電源プラグを抜いて、1～2時間冷ましてから再度電源プラグを差し込んでください。
湿度が下がらない	●部屋が広すぎる	●適切な広さの部屋で使用してください。
	●窓や出入口の開閉が多い ●窓や出入口が開いている	●窓や出入口の開閉を確認してください。
	●石油ストーブなど水蒸気の出るものを使用している	●水蒸気の出る暖房器具はできるだけ控えてください。
除湿量が少ない	●エアフィルターがつまっている	●吸気口カバー（エアフィルター）を外して、掃除機などで掃除してください。
	●吸気口・吹き出し口がふさがれている	●ふさいでいるものを取り除いてください。
	●温度が高く、湿度が低い ●温度・湿度が低い	●温度が高く湿度が低くなる、または温度・湿度が低くなるにつれ、除湿量は低くなります。

運転音が大きい	●エアフィルターがつまっている	●吸気口カバー（エアフィルター）を外して、掃除機などで掃除してください。
	●設置が悪く、がたついている	●水平で安定した場所に設置してください。
	●サーキュレーターのリングカバーが正しくはまっていない	●リングカバーを正しく取り付けてください。
首ふり時に「カタカタ」「コトコト」音がする	●首ふり運転時に音が一時的に強くなることもある	●異常ではありません。
床がぬれる	●本体が傾いている	●水平で安定した場所に設置してください。
	●タンクに水が入ったまま移動した	●移動の際はタンクの水を捨ててください。
	●フロートが動いていない	●満水時、フロートが浮いていることを確認してください。
	●運転停止後すぐにタンクを取り出した	●冷却器に残ってる水滴が落ち切るまで待ってからタンクを取り出してください。
	●タンクのふたが正しくはまっていない	●タンクのふたを正しく取り付けてください。
運転中、室温が上がる	●閉め切った部屋で運転すると、室温が1～5℃上昇する	●除湿のしくみによるもので、異常ではありません。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

長期使用製品について

長年ご使用になった製品は、熱や湿気、ほこりなどの影響によって、発煙・発火するおそれがあります。使用中、次のような症状がみられた場合には、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。

- 電源 切/入スイッチを押しても何も反応しない。
- 本体内のファンやサーキュレーターの羽根が回るときに異常な音がする
- 電源コードが折れ曲がったり、破損している
- サーキュレーターの羽根が回るときに、スピードが不規則に変化する
- 電源コードに触れると電源が切れたり入ったりする
- 本体やサーキュレーターから焦げ臭いにおいがする

設計上の標準使用時間について

JIS基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間を、製品本体に表示してあります。

環境条件	電圧	AC 100V
	電源周波数	50/60Hz
	温度	30℃
	湿度	65%
	設置	本書に基づく設置
負荷条件		本製品の最大定格での運転
想定時間	運転時間	8h/日
	スイッチ操作回数	5回/日
	運転日数	110日/年
	スイッチ操作	550回/年



警告

製品の劣化や故障は様々な要因に影響されます。表記の標準使用時間に満たないときでも、上記のような異常が見られたときには、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

冷媒に関するご注意



この家庭用除湿機にはCO₂（温暖化ガス）163kgに相当するフロン類（R-134a）が封入されています。地球温暖化防止のため、廃棄にあたっては冷媒フロン類の適切な処理が必要です。お住まいの地域の方法にしたがい廃棄してください。フロン類に関するお問い合わせは、アイリスコールへお願いいたします。

仕様

品番	DCC-6515C		
電源電圧	AC 100V		
電源周波数	50Hz	60Hz	
消費電力（衣類乾燥-ヒーターオン）	790W	810W	
消費電力（衣類乾燥-ヒーターオフ）	190W	210W	
定格除湿能力※ ¹	6.0L/日	7.0L/日	
除湿可能面積の目安※ ²	木造	12.5㎡（7.5畳）	15㎡（9畳）
	プレハブ	19㎡（11.5畳）	23㎡（14畳）
	鉄筋コンクリート	24.5㎡（15畳）	30㎡（18畳）
タンク容量	約3.5L		
コード長さ	約1.8m		
製品寸法	幅310×奥行235×高さ790 mm		
製品質量	12.2kg		

※ 1 定格除湿能力は、室温27℃、相対湿度60%を維持し続けたときの、1日（24時間）あたりの除湿量です。

※ 2 除湿可能面積の目安は、JEMA（日本電気工業会）規格に基づいた数値です。

※ 商品の仕様は予告なく変更する場合があります。

待機消費電力の削減について

この製品は、電源プラグを差し込んだ状態では、電子回路を動作させるために約 0.5W の待機時消費電力を消費しています。省エネルギー推進のため、ご使用にならないときは電源プラグを抜いてください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

衣類乾燥除湿機 DCC-6515C

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間	
お 客 様	ご芳名		
	ご住所 〒		
		電話 () -	
※ 販 売 店	住所・店名		
	電話 () -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居やご贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

製品に関するお問い合わせは **アイリスコール**（通話料無料）に

受付時間 9:00～17:00

（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは **修理専用コール**（通話料無料）に

受付時間 9:00～17:00

（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

0800-170-7070

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

030215-KTK-01
P050215-KTK-WYT-01